



マスコットキャラクター
「とみ山くん」

教育目標 「進んで学び 豊かな心で やりぬく子」

とみおか

<http://www.tomioka.jorne.ed.jp/>

E-mail: tomioka@jorne.or.jp

令和5年10月21日

上越市立富岡小学校

学校だより No. 6

TEL:025-523-2843

祝 学校創立150周年記念式典・文化祭

21日（土）は150周年記念式典と文化祭が実施されました。保護者と地域の皆様、約160名から参加いただき、盛大に実施されました。実行委員会の皆様をはじめ、式典に参加いただいた皆様、物心両面からご協力いただいた大勢の地域の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

降雨のため体育館で行われた『熱気球搭乗体験』では、熱気球のクイズを楽しんだり、親子でバスケットに搭乗して記念写真を撮ったりしながら、空中散歩への思いを馳せていました。並行して行われた『記念フォトフレームづくり』は、親子で相談しながら選んだ写真が映えるように様々な飾りをデザインして、オンリーワンの作品に仕上げていました。

記念公演として行われた『保倉川太鼓』では、勇壮で重厚な響きと迫力に圧倒されるとともに、お祝いの気持ちが高まっていきました。横山明夫実行委員長様からは、明治6年の開校以来「子どもは家庭と地域の宝」との熱い思いのもと、学校への支援が行われてきたこと、輝かしい伝統を継承・発展させるべく日々学習活動に励むこと、についてお話しをいただきました。

式典の最後には、参加者全員で『校歌』を合唱しながら、それぞれの学校への思いを振り返ったり、これからの未来に想いを馳せたりしました。

なお、150周年記念の『クリアファイル』と『記念誌』は、今月の文書配付時に併せて各町内会から全戸に配付される予定ですので、よろしくお願いいたします。



午後から行われた『きりのは学習発表会』は、金管音楽部による『こんにちはトランペット』『校歌』の演奏と、各学年が「みらい学習」でこれまで学んできたことを劇や音楽、ダンス等に構成して発表しました。子どもたちは、「みらい学習」の学びをとおして得た喜びや自信、地域を愛する気持ち、友達や周りの人たちへの感謝の気持ちなど、たくさんの思いや願いを表現することができたと思います。子どもたちは、見ている人たちに喜んでもらえるように、友達と協力して練習や準備を頑張ったり、たくさんのお客様の前でも物怖じすることなく表現したりしようと努力を重ねてきました。発表を作り上げる過程に大きな学びが得られたと思っています。

また、今年は1階廊下に全校児童の絵画作品を展示しました。それぞれの作品からは、子どもらしい素直な表現や工夫が感じられました。作品から一人一人の子どもの顔が浮かんでくるようでした。

人前で発表することが苦手な子、うまくリズムをとれない子、作品づくりが苦手な子、得意な子等々、子どもは一人一人違っていています。本日の皆様からの温かい拍手や称賛の声により、子どもたちはより一層の成就感や満足感を得ることができたことと思います。

大勢の保護者・地域の皆様のおかげで充実した文化祭となりました。ありがとうございました。

【文化祭に向けて取り組む子どもたち】



150周年記念 校内マラソン大会に向けて

11月1日(水)の9:30~11:50は150周年記念のスペシャルなマラソン大会です。走ることが得意な子どもも、マラソンは苦しいものと思っている子どもも、保護者・地域の皆様からも「走る楽しさ」を感じてもらえるように、内容や方法を工夫して計画しました。

マラソンの楽しさには、次のような要素があると考えます。

- ・順位を競争することの楽しさ(他者との勝負)
- ・記録や目標に挑戦する楽しさ(自分との勝負)
- ・全力を出すことの充足感のある楽しさ
- ・快適な速度で走ること、身体を動かすことの心地よさや楽しさ
- ・頑張っている友達を応援する楽しさ など



そこで、競技をめざす「チャレンジコース」と、無理なく自分のペースで走る「スロージョギングコース」を設定し、自分でコースや距離を選択できるできるようにしました。

「チャレンジコース」は、1,000m・1,500m・2,500mの3部門があり、学年を問わずに順位を競い、タイムを計測します。併せて、これまでのマラソン大会と同様に、1,000mの部は1・2年生の男女1位、1,500mの部は3・4年生の男女1位、2,500mの部は5・6年生の男女1位も決定します。

「スロージョギングコース」は、1,000m・1,500mの部があり、おしゃべりができるようなペースで、ゆっくり快適に走ります。順位はつけずにタイムは自分で大型タイマーによって確認します。

「チャレンジコース」と「スロージョギングコース」の2つにエントリーすることも可能です。どちらのコースも完走賞として「150周年記念大会ハンドタオル」が贈られます。

150周年の記念に、保護者・地域の皆様も子どもたちと一緒に走ったり、ボランティアとして大会運営に関わったりしながら楽しんでもいただきたいと思います。そして、大会当日は、多くの保護者・地域の皆様方から沿道での応援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

第50回上越市小学生親善陸上大会より

4日(水)に開催された第50回上越市小学校親善陸上競技大会は、市内55校の676名が参加して競技が行われました。富岡小学校からは、6年生全員が選手・応援団として参加しました。種目は、男女100m、男女走幅跳、男子1500m、女子800m、男女400mリレーです。

選手は、学校の代表として、自分の力を精一杯発揮していました。応援の子どもたちは頑張っている仲間へ一生懸命に声援を送っていました。他校の選手と親睦を深める姿もありました。大会に向けて、仲間と励まし合いながら練習を積み重ねた子どもたちの努力を讃えたいと思います。

応援いただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。

また、50回大会の記念として、参加者全員を撮影したクリアファイルが贈られました。



全国学力・学習状況調査結果の概要から

6年生が4月に行った表記調査の結果の概要をお知らせします。

○国語・・・全国平均を大きく下回る。【全国67.2 県67】

- ・「自分の考えをまとめる」といった記述式の問題は比較的よくできていました。
- ・「情報の扱い方に関する事項」が大きく落ち込んでいました。設問の意図の理解や資料の活用法が課題です。

○算数・・・全国平均を大きく下回る。【全国62.5 県62】

- ・「比例」や「加法・乗法の短答式」の問題は比較的よくできていました。
- ・「データの活用」に関する問題文や複数の資料の読み取りと考え方、表現力に課題がありました。

○質問紙調査からの課題

- ・「分かるまで教えてくれる」が全国に比べ20%以上高いという結果でした、きめ細やかな指導が行われている反面、子どもが試行する時間や場を確保することも必要であると考えられます。
- ・国語、算数ともに「勉強は大切だと思う」に88%の子どもが回答していますが、「国語が好き」は50%、「算数が好き」は62.5%でした。学ぶ楽しさを感じていないことが、主体的な学習態度や計画的な家庭学習につながっていないと考えられます。

どの学年においても当校の課題は、「主体的な学び」と「問題文の意図を読み取る力」が不十分なことです。自ら「何について答えるのか」を素早く性格に読み取って、自分の言葉で書き表す力を日々の授業を通して育てていく必要があります。これからも主体的に読む力や表現する力を向上させるための授業改善に取り組んでまいります。

11月の主な行事予定



- 1日(水) 150周年記念マラソン大会、学校訪問カウンセラー来校日、「上越市教育の日」
- 2日(木) 委員会活動、(マラソン大会予備日)
- 6日(月) 校内読書週間(～12日)
- 7日(火) スマイルタイム
- 8日(水) 相談週間(～16日)
- 9日(木) 小川未明出張コンサート、クラブ活動
- 10日(金) 5年生PTC活動(米調理)
学校訪問カウンセラー来校日、学校司書来校日
- 14日(火) 市学校研のため給食後下校
- 15日(水) iPad全校持ち帰り日
- 16日(木) 委員会活動
- 17日(金) 学校訪問カウンセラー来校日、学校司書来校日
- 18日(土) 「教育コラボ2023 学び愛フェスタ」
- 21日(火) 歌っておどって何でも大会(放送給食委員会)
- 24日(金) 学校訪問カウンセラー来校日
城東中学校入学説明会
- 28日(火) 金管課外(4年生活動開始:楽器体験)
- 30日(木) クラブ活動、ドッジボール大会(健康委員会)

十一月は「新潟県教育月間」です。
上越市は、「上越市教育の日に関する規則」で十一月を「上越市教育を考える市民の月間」と定めています。
教育コラボ「学び愛フェスタ」では、記念講演会など様々なイベントが催されます。オーレンプラザでは、各学校の歴史を物語る「校舎の記録のパネル展」も行われます。